

平成20年度相双連盟ソフトテニス指導者講習会 報告

12月20日（土）21日（日）の2日間、富岡町総合体育館において、皆呂充亮氏（スポーツナロ代表）を招聘して標記講習会を開催しました。



講習会には、県連盟ジュニア指導員新規検定者8名を含む指導者57名、小中高の生徒110名の参加がありました。



1日目は恒例のフォア・バックの全体素振りとストロークボード打ち。今回は基本スイングに「回転動作」を加えた内容でした。



2日目は左右前後のフットワーク。サービス、ポレーと進みました。後衛陣は前衛のポレー練習の間に「球足」を長くせざるをえないローテーションストロークの練習をしており、多人数を扱う「コートマネージメント」の実際・説明は指導者の方々には、とても勉強になったようです。

今や全国各地の講習会に招聘されるようになった皆呂氏ですが、実は、この相双地区が一番最初に講習会を行なったところ。およそ8年前かと思いますが、それ以来毎年様の様に来ていただいております。その当時の受講者も多く、生徒の中にも最多で6回目の受講という子もいました。

皆呂氏のメニューの多様さは、この地区のジュニア各団体の指導の場面に確実に根付いており、小学生の県大会での成績にも結び付いています。また、この講習会で育った中学生や高校生も、小学生や中学生の時以上に、県のトップ選手層で活躍できる選手が増えてきました。このことは、この講習会を通して「基本の大切さ」を、ジュニア期の指導者が理解し、指導にあたっていると同時に、そのことを毎年毎年、（気苦労は大変なものかと思いますが）新ネタで指導法を提供していただいている皆呂氏の功績に因るところが大きいと感じています。



今回、資料として配布した「ジュニアスポーツの心得集～保護者と指導者の皆さんへ～」。皆呂氏の知人が運営するミニバスケットチームの配布資料をもとに、作成しました。内容は、小学生時代にスポーツに取り組む意義・ライフスキル・保護者の仕事（※親のための10の心得）・コーチングの約束（※コーチング6ヶ条）等、全8ページでまとめました。非常に好評でした。指導者だけでなく、保護者にも是非読んでもらいたい内容です。今後、県連の配布資料と活用していく方向になると思います。

（報告：相双ソフトテニス連盟 吉田茂）